

## 千葉県生協連活動報告

## 2024年度第1回食・消費者委員会を開催しました！

2024年4月15日(月)に、2024年度第1回食・消費者委員会を開催しました。委員と事務局、6人が参加しました。今回は昨年度末に提出した千葉県及び千葉市の令和6年度食品衛生監視指導計画(案)に対する回答をもとに、意見交換をおこないました。

## 1. 千葉県及び千葉市の令和6年度食品衛生監視指導計画について

令和6年度食品衛生監視指導計画へ提出した意見に対する千葉市、千葉県からの回答について、事務局から計画案に大きな修正はなかったこと、千葉市及び千葉県からは提言したすべての意見に回答があったこと、各意見が好意的に受け止められていたことを報告しました。委員からは「行政に意見を出すことが大切」「提言を検討する中で、委員間で意見交換したことが学びになった」「回答を次年度につなげて行けたら良い」といった感想がありました。また、今年度は会員生協からの意見提出はありませんでしたが、来年は提出を検討したいとの話もありました。委員会として、今後もリスクコミュニケーションとして継続する必要性を再確認しました。

## 2. 2023年度の学習の振り返りと2024年度の活動について

2023年度食・消費者委員会活動の振り返った後、2024年度委員会(2回～5回)で取り上げる学習テーマについて意見交換をおこないました。

《出された主な意見》

- 第2回の消費生活相談員の説明が印象に残った。高齢者の被害動向を知って驚いた。またその際に、消費生活相談員が不足している現状も知ることができた。
- 厚生労働省横浜検疫所輸入食品・検疫検査センターの視察は、国の輸入食品の検査体制や内容といった現況だけでなく、検疫の歴史などについても学びがあり大変良かった。
- 第4回の食の安全に関する学習は、食品表示について関心が薄れていたところだったので、改めて新たな情報を得ることができた。
- 知らないことを共有することの大切さを感じた。第3回の電気料金での講師のお話しは大変わかりやすかった。関心のある役職員の間でも、資料が大変参考になった。
- 成年年齢引き下げに関心がある。若者の被害について、具体的な事例を知りたい。
- 機能性表示食品の問題もあったので、食品表示についてもっと掘り下げて学びたい。ゲノム編集食品や遺伝子組み換え食品の表示にもつながってくるのではないかな。

意見交換の後、年度内の日程及びテーマについて、下記の通り確認しました。

第2回 7月1日 or 3日	日本の消費者行政について(歴史、現状、今後)、消費者団体としての生協
視察 9月4日(1日)	視察：千葉県漁連関連、食品工場、食品衛生関連施設など
第3回 10月28日 P.M.	千葉県の相談体制(高齢者・若者の消費者被害、市町村窓口、相談員)
第4回 12月9日 P.M.	食品表示(食品の内容と表示、機能性表示食品、ゲノムなど)
第5回 2025年2月19日 A.M.	食品衛生監視指導計画に関する行政との懇談

これらをもとに事務局が起案し、委員に確認の上で講師依頼など、準備を進めます。